

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月14日

上場会社名 株式会社 大光銀行
 コード番号 8537 URL <http://www.taikobank.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 中島 富雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役金融財務部長 (氏名) 岩崎 道雄
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月28日 配当支払開始予定日 平成20年12月10日
 特定取引勘定設置の有無 無

上場取引所 東

TEL 0258-36-4111

平成20年12月10日

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年9月中間期	14,373	5.9	1,708	△42.4	1,181	△10.7
19年9月中間期	13,571	△5.7	2,966	16.6	1,323	△9.4

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
20年9月中間期	11.85	—
19年9月中間期	13.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	連結自己資本比率(国内基準)
	百万円	百万円	%	円 銭	%
20年9月中間期	1,252,332	56,854	4.5	568.16	11.37
20年3月期	1,250,022	56,945	4.5	569.05	11.41

(参考) 自己資本 20年9月中間期 56,616百万円 20年3月期 56,711百万円

(注1)「自己資本比率」は[中間期末(期末)純資産の部合計－中間期末(期末)少数株主持分]を中間期末(期末)資産の部の合計で除して算出しております。

(注2)「連結自己資本比率(国内基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	2.50	—	3.00	5.50
21年3月期	—	2.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,100	4.1	2,650	△34.3	1,520	△31.1	15.25

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3頁【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	20年9月中間期	100,014,000株	20年3月期	100,014,000株
② 期末自己株式数	20年9月中間期	365,162株	20年3月期	355,545株
③ 期中平均株式数(中間期)	20年9月中間期	99,653,864株	19年9月中間期	99,669,112株

(個別業績の概要)

1. 平成21年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年9月中間期	14,212	6.1	1,700	△41.2	1,181	△9.5
19年9月中間期	13,385	△5.6	2,892	17.1	1,307	△10.1

1株当たり中間純利益	
	円 銭
20年9月中間期	11.86
19年9月中間期	13.11

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	単体自己資本比率(国内基準)
	百万円	百万円	%	円 銭	%
20年9月中間期	1,251,522	56,453	4.5	566.52	11.38
20年3月期	1,249,192	56,547	4.5	567.41	11.41

(参考) 自己資本 20年9月中間期 56,453百万円 20年3月期 56,547百万円

(注1)「自己資本比率」は中間期末(期末)純資産の部合計を中間期末(期末)資産の部の合計で除して算出しております。

(注2)「単体自己資本比率(国内基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

2. 平成21年3月期の個別業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,720	4.2	2,640	△33.3	1,520	△30.5	15.25

(注)個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当行は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、当第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表および中間財務諸表を作成しております。

2. 平成20年5月15日に公表いたしました連結業績予想及び個別業績予想のうち、通期について予想数値を修正いたしました。なお、通期業績予想数値の修正に関する事項は、添付資料の3頁【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に対する定性的情報をご参照ください。

3. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済を顧みますと、米国景気の低迷や引き続いての原材料高を背景に輸出や生産に弱さがみられ、平成14年2月より続いた景気拡大は後退局面入りの様相を見せ始めました。

当行グループの主たる営業基盤である新潟県の経済につきましては、公共投資や住宅投資に回復の兆しがみられた一方、設備投資や個人消費が慎重化し、これを受け企業生産や企業収益に弱さがみられるなど、県内景気は総じて弱含みの動きとなりました。

このような経済状況のもとで、当行グループの当中間連結会計期間の連結経営成績につきましては、連結経常利益は、有価証券利回り上昇等による運用益の増加があったものの、預貸金利鞘の縮小や役員取引等収益の減少、国債等債券償却の増加があり、また個別貸倒引当金繰入額や貸出金償却、偶発損失引当金繰入額、株式等売却損等のその他経常費用の増加もあって、前年同期比12億58百万円減少の17億8百万円となりました。

連結中間純利益は、法人税等調整額を含めた税金費用の減少などもあり、前年同期比1億42百万円減少の11億81百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当中間連結会計期間末における連結財政状態につきましては、総資産1兆2,523億32百万円（前年度末比23億10百万円増加）、純資産は568億54百万円（前年度末比91百万円減少）となりました。主要科目につきましては、貸出金8,249億14百万円（前年度末比64億43百万円増加）、有価証券3,579億26百万円（前年度末比82億20百万円増加）、預金1兆1,638億12百万円（前年度末比59億31百万円増加）となりました。

なお、有価証券の変動利付国債の時価評価については、「金融資産の時価の算定に関する実務上の取扱い」（企業会計基準委員会実務対応報告第25号平成20年10月28日）に基づき、合理的に算定された価額により評価を行っております。

これにより、従来の方法に比べ有価証券は44億34百万円、その他有価証券評価差額金は26億42百万円それぞれ増加し、繰延税金資産は17億91百万円減少しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結の通期の業績予想につきましては、平成20年5月15日公表の業績予想に対し、経常収益は、有価証券利息などの増加見込みから9億80百万円増収の281億円を見込んでいます。経常利益は、当中間連結会計期間の有価証券の減損処理などの影響から6億30百万円減益の26億50百万円を見込んでいます。当期純利益は、償却債権取立益の増加が見込まれますが、上記の減益要因があることなどから5億60百万円減益の15億20百万円を見込んでいます。

単体の通期の業績予想につきましては、平成20年5月15日公表の業績予想に対し、経常収益は、有価証券利息などの増加見込みから9億40百万円増収の277億20百万円を見込んでいます。経常利益は、当中間会計期間の有価証券の減損処理などの影響から6億30百万円減益の26億40百万円を見込んでいます。当期純利益は、償却債権取立益の増加が見込まれますが、上記の減益要因があることなどから5億60百万円減益の15億20百万円を見込んでいます。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

（リース取引に関する会計基準）

所有権移転外ファイナンス・リースについては、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号平成19年3月30日）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号同前）が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度から適用されることになったことに伴い、当中間連結会計期間から同会計基準及び適用指針を適用しております。

なお、リース取引開始日が平成20年4月1日前に開始する連結会計年度に属する所有権移転外ファイナンス・リース取引につきましては、前連結会計年度末日における未経過リース料残高を取得価額とし、期首に取得したものととしてリース資産に計上しております。

これによる中間連結貸借対照表等に与える影響は軽微であります。

5. 中間連結財務諸表
 (1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当中間連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
現金預け金	21,892	27,133
コールローン及び買入手形	20,000	30,000
買入金銭債権	113	123
商品有価証券	54	37
金銭の信託	3,000	3,000
有価証券	357,926	349,706
貸出金	824,914	818,471
外国為替	3,852	3,998
その他資産	4,915	4,985
有形固定資産	14,075	13,884
無形固定資産	1,365	1,388
繰延税金資産	7,293	6,208
支払承諾見返	3,620	3,030
貸倒引当金	△10,691	△11,945
資産の部合計	1,252,332	1,250,022
負債の部		
預金	1,163,812	1,157,881
コールマネー及び売渡手形	1,036	1,202
借入金	2,000	2,000
外国為替	0	6
社債	8,000	8,000
その他負債	7,233	11,754
賞与引当金	869	741
役員賞与引当金	16	30
退職給付引当金	5,393	5,474
役員退職慰労引当金	168	191
睡眠預金払戻損失引当金	189	195
利息返還損失引当金	39	39
偶発損失引当金	629	60
再評価に係る繰延税金負債	2,469	2,469
支払承諾	3,620	3,030
負債の部合計	1,195,477	1,193,077
純資産の部		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	8,208	8,208
利益剰余金	36,732	35,850
自己株式	△120	△118
株主資本合計	54,820	53,940
その他有価証券評価差額金	△445	528
土地再評価差額金	2,241	2,241
評価・換算差額等合計	1,796	2,770
少数株主持分	238	234
純資産の部合計	56,854	56,945
負債及び純資産の部合計	1,252,332	1,250,022

（２）中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
経常収益	13,571	14,373
資金運用収益	11,842	11,914
(うち貸出金利息)	9,594	9,590
(うち有価証券利息配当金)	2,057	2,177
役務取引等収益	1,332	1,103
その他業務収益	111	60
その他経常収益	286	1,293
経常費用	10,605	12,664
資金調達費用	1,482	1,970
(うち預金利息)	1,421	1,847
役務取引等費用	870	831
その他業務費用	104	629
営業経費	7,373	7,398
その他経常費用	774	1,834
経常利益	2,966	1,708
特別利益	1,030	171
固定資産処分益	—	19
償却債権取立益	—	151
特別損失	437	42
固定資産処分損	—	42
税金等調整前中間純利益	3,559	1,836
法人税、住民税及び事業税	448	1,058
法人税等調整額	1,763	△407
法人税等合計	—	650
少数株主利益	24	4
中間純利益	1,323	1,181

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	10,000	10,000
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	10,000	10,000
資本剰余金		
前期末残高	8,208	8,208
当中間期変動額		
自己株式の処分	0	△0
自己株式処分差損の振替	—	0
当中間期変動額合計	0	—
当中間期末残高	8,208	8,208
利益剰余金		
前期末残高	34,077	35,850
当中間期変動額		
剰余金の配当	△249	△298
中間純利益	1,323	1,181
自己株式処分差損の振替	—	△0
土地再評価差額金の取崩	28	—
当中間期変動額合計	1,102	882
当中間期末残高	35,180	36,732
自己株式		
前期末残高	△113	△118
当中間期変動額		
自己株式の取得	△2	△2
自己株式の処分	0	0
当中間期変動額合計	△2	△2
当中間期末残高	△115	△120
株主資本合計		
前期末残高	52,172	53,940
当中間期変動額		
剰余金の配当	△249	△298
中間純利益	1,323	1,181
自己株式の取得	△2	△2
自己株式の処分	0	0
自己株式処分差損の振替	—	—
土地再評価差額金の取崩	28	—
当中間期変動額合計	1,100	879
当中間期末残高	53,273	54,820

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	8,053	528
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△1,738	△973
当中間期変動額合計	△1,738	△973
当中間期末残高	6,315	△445
土地再評価差額金		
前期末残高	2,302	2,241
当中間期変動額		
土地再評価差額金の取崩	△28	—
当中間期変動額合計	△28	—
当中間期末残高	2,273	2,241
評価・換算差額等合計		
前期末残高	10,356	2,770
当中間期変動額		
土地再評価差額金の取崩	△28	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△1,738	△973
当中間期変動額合計	△1,766	△973
当中間期末残高	8,589	1,796
少数株主持分		
前期末残高	209	234
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	23	3
当中間期変動額合計	23	3
当中間期末残高	232	238
純資産合計		
前期末残高	62,739	56,945
当中間期変動額		
剰余金の配当	△249	△298
中間純利益	1,323	1,181
自己株式の取得	△2	△2
自己株式の処分	0	0
自己株式処分差損の振替	—	—
土地再評価差額金の取崩	—	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△1,714	△970
当中間期変動額合計	△643	△90
当中間期末残高	62,096	56,854

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前中間連結会計期間(自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)及び当中間連結会計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

銀行事業の経常収益及び経常利益の金額は、全セグメントの経常収益の合計及び経常利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前中間連結会計期間(自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)及び当中間連結会計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

在外子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[国際業務経常収益]

前中間連結会計期間(自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)及び当中間連結会計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

国際業務経常収益が、連結経常収益の10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

6. 中間財務諸表
 (1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	当中間会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度の 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
現金預け金	21,892	27,133
コールローン	20,000	30,000
買入金銭債権	113	123
商品有価証券	54	37
金銭の信託	3,000	3,000
有価証券	357,830	349,606
貸出金	825,051	818,511
外国為替	3,852	3,998
その他資産	3,883	4,024
有形固定資産	14,073	13,882
無形固定資産	1,347	1,386
繰延税金資産	7,163	6,090
支払承諾見返	3,620	3,030
貸倒引当金	△10,360	△11,631
資産の部合計	1,251,522	1,249,192
負債の部		
預金	1,163,849	1,157,910
コールマネー	1,036	1,202
借入金	2,000	2,000
外国為替	0	6
社債	8,000	8,000
その他負債	6,844	11,350
未払法人税等	1,050	809
リース債務	417	—
その他の負債	5,376	10,540
賞与引当金	865	736
役員賞与引当金	16	30
退職給付引当金	5,379	5,461
役員退職慰労引当金	168	191
睡眠預金払戻損失引当金	189	195
偶発損失引当金	629	60
再評価に係る繰延税金負債	2,469	2,469
支払承諾	3,620	3,030
負債の部合計	1,195,068	1,192,645
純資産の部		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	8,208	8,208
資本準備金	8,208	8,208
利益剰余金	36,569	35,686
利益準備金	1,791	1,791
その他利益剰余金	34,778	33,895
別途積立金	21,000	21,000
繰越利益剰余金	13,778	12,895
自己株式	△120	△118
株主資本合計	54,657	53,777
その他有価証券評価差額金	△445	528
土地再評価差額金	2,241	2,241
評価・換算差額等合計	1,796	2,770
純資産の部合計	56,453	56,547
負債及び純資産の部合計	1,251,522	1,249,192

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
経常収益	13,385	14,212
資金運用収益	11,762	11,851
(うち貸出金利息)	9,513	9,526
(うち有価証券利息配当金)	2,060	2,179
役務取引等収益	1,269	1,039
その他業務収益	73	27
その他経常収益	279	1,293
経常費用	10,493	12,511
資金調達費用	1,481	1,970
(うち預金利息)	1,421	1,847
役務取引等費用	850	798
その他業務費用	94	628
営業経費	7,326	7,337
その他経常費用	739	1,777
経常利益	2,892	1,700
特別利益	1,037	171
特別損失	437	42
税引前中間純利益	3,493	1,829
法人税、住民税及び事業税	421	1,044
法人税等調整額	1,764	△397
法人税等合計	—	647
中間純利益	1,307	1,181

(3) 中間株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	10,000	10,000
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	10,000	10,000
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	8,208	8,208
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	8,208	8,208
その他資本剰余金		
前期末残高	—	—
当中間期変動額		
自己株式の処分	0	△0
自己株式処分差損の振替	—	0
当中間期変動額合計	0	—
当中間期末残高	0	—
資本剰余金合計		
前期末残高	8,208	8,208
当中間期変動額		
自己株式の処分	0	△0
自己株式処分差損の振替	—	0
当中間期変動額合計	0	—
当中間期末残高	8,208	8,208
利益剰余金		
利益準備金		
前期末残高	1,791	1,791
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	1,791	1,791
その他利益剰余金		
別途積立金		
前期末残高	21,000	21,000
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	21,000	21,000
繰越利益剰余金		
前期末残高	11,144	12,895
当中間期変動額		
剰余金の配当	△249	△298
中間純利益	1,307	1,181
自己株式処分差損の振替	—	△0
土地再評価差額金の取崩	28	—
当中間期変動額合計	1,086	882
当中間期末残高	12,230	13,778

(単位:百万円)

	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
利益剰余金合計		
前期末残高	33,935	35,686
当中間期変動額		
剰余金の配当	△249	△298
中間純利益	1,307	1,181
自己株式処分差損の振替	—	△0
土地再評価差額金の取崩	28	—
当中間期変動額合計	1,086	882
当中間期末残高	35,021	36,569
自己株式		
前期末残高	△113	△118
当中間期変動額		
自己株式の取得	△2	△2
自己株式の処分	0	0
当中間期変動額合計	△2	△2
当中間期末残高	△115	△120
株主資本合計		
前期末残高	52,030	53,777
当中間期変動額		
剰余金の配当	△249	△298
中間純利益	1,307	1,181
自己株式の取得	△2	△2
自己株式の処分	0	0
自己株式処分差損の振替	—	—
土地再評価差額金の取崩	28	—
当中間期変動額合計	1,084	880
当中間期末残高	53,114	54,657
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	8,053	528
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△1,738	△973
当中間期変動額合計	△1,738	△973
当中間期末残高	6,315	△445
土地再評価差額金		
前期末残高	2,302	2,241
当中間期変動額		
土地再評価差額金の取崩	△28	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	—	—
当中間期変動額合計	△28	—
当中間期末残高	2,273	2,241
評価・換算差額等合計		
前期末残高	10,356	2,770
当中間期変動額		
土地再評価差額金の取崩	△28	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△1,738	△973
当中間期変動額合計	△1,766	△973
当中間期末残高	8,589	1,796

(単位:百万円)

	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
純資産合計		
前期末残高	62,386	56,547
当中間期変動額		
剰余金の配当	△249	△298
中間純利益	1,307	1,181
自己株式の取得	△2	△2
自己株式の処分	0	0
自己株式処分差損の振替	—	—
土地再評価差額金の取崩	—	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△1,738	△973
当中間期変動額合計	△682	△93
当中間期末残高	61,704	56,453

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

平成20年度

第2四半期決算(中間決算)説明資料

株式会社 大 光 銀 行

【目 次】

I. 平成20年度第2四半期決算(中間決算)の概況

1. 損益状況	単	1
	連	2
2. 業務純益	単	3
3. 主要勘定残高	—	3
(1) 未残	単	3
(2) 平残	単	3
4. 利鞘	単	4
5. 有価証券関係損益	単	4
6. 自己資本比率(国内基準)	単・連	5
7. ROE	単	6
8. ROA	単	6
9. OHR	単	6

II. 貸出金等の状況

1. リスク管理債権の状況	単・連	7
2. 貸倒引当金等の状況	単・連	8
3. リスク管理債権に対する引当率	単・連	8
4. 金融再生法開示債権	単	9
5. 金融再生法開示債権の保全状況	単	9
6. 自己査定に基づく開示債権	単	10
7. 償却・引当基準と引当状況	単	10
8. 自己査定の状況	単	11
9. 自己査定・保全の状況と開示債権	単	11
10. 業種別貸出状況等	—	12
(1) 業種別貸出金	単	12
(2) 業種別リスク管理債権	単	12
(3) 業種別リスク管理債権の貸出残高比	単	13
(4) 消費者ローン残高	単	13
(5) 中小企業等貸出比率	単	13
11. 国別貸出状況等	—	14
(1) 特定海外債権残高	単	14
(2) アジア向け貸出金	単	14
(3) 中南米主要諸国向け貸出金	単	14
(4) ロシア向け貸出金	単	14
12. 預金、貸出金の残高	単	14

(注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 「平成20年度第2四半期決算(中間決算)の概況」以下の19年9月期比、19年9月末比、20年3月末比欄等の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。

I. 平成20年度第２四半期決算（中間決算）の概況

1. 損益状況

【単体】

（単位：百万円）

	19年9月期	20年9月期	19年9月期比
業務粗利益	10,678	9,521	△1,157
（除く国債等債券損益（5勘定戻））	(10,695)	(10,126)	(△569)
国内業務粗利益	10,369	9,177	△1,192
（除く国債等債券損益（5勘定戻））	(10,386)	(9,781)	(△605)
資金利益	9,970	9,544	△426
役務取引等利益	414	237	△177
その他業務利益	△14	△604	△590
（うち国債等債券損益）	(△16)	(△604)	(△588)
国際業務粗利益	309	344	35
（除く国債等債券損益（5勘定戻））	(309)	(344)	(35)
資金利益	310	337	27
役務取引等利益	4	3	△1
その他業務利益	△6	3	9
（うち国債等債券損益）	(—)	(—)	(—)
経費（除く臨時処理分）	7,099	7,133	34
人件費	4,080	4,080	0
物件費	2,728	2,745	17
税金	290	307	17
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	3,579	2,387	△1,192
除く国債等債券損益（5勘定戻）	3,596	2,992	△604
①一般貸倒引当金繰入額	—	△829	△829
業務純益	3,579	3,217	△362
うち国債等債券損益（5勘定戻）	△16	△604	△588
臨時損益	△686	△1,516	△830
②不良債権処理額	302	1,385	1,083
貸出金償却	273	321	48
個別貸倒引当金繰入額	—	1,031	1,031
債権等売却損	29	32	3
（貸倒償却引当費用①+②）	302	555	253
株式等関係損益	△186	530	716
③偶発損失引当金繰入額	—	568	568
その他臨時損益	△197	△92	105
経常利益	2,892	1,700	△1,192
特別損益	600	128	△472
うち償却債権取立益（特別利益）	489	151	△338
④うち貸倒引当金戻入益（特別利益）	548	—	△548
うち減損損失（特別損失）	55	—	△55
うち役員退職慰労引当金繰入額（特別損失）	183	—	△183
うち睡眠預金払戻損失引当金繰入額（特別損失）	164	—	△164
税引前中間純利益	3,493	1,829	△1,664
法人税、住民税及び事業税	421	1,044	623
法人税等調整額	1,764	△397	△2,161
中間純利益	1,307	1,181	△126
（参考）与信関係費用①+②+③-④	△245	1,124	1,369

【連結】

<連結損益計算書ベース>

(単位：百万円)

	19年9月期	20年9月期	19年9月期比
連結粗利益	10,828	9,647	△1,181
資金利益	10,359	9,944	△415
役務取引等利益	462	271	△191
その他業務利益	6	△568	△574
営業経費	7,373	7,398	25
貸倒償却引当費用	299	1,138	839
貸出金償却	299	351	52
個別貸倒引当金繰入額	—	1,067	1,067
一般貸倒引当金繰入額	—	△849	△849
偶発損失引当金繰入額	—	568	568
株式等関係損益	△186	530	716
持分法による投資損益	7	0	△7
その他経常損益	△9	67	76
経常利益	2,966	1,708	△1,258
特別損益	593	128	△465
税金等調整前中間純利益	3,559	1,836	△1,723
法人税、住民税及び事業税	448	1,058	610
法人税等調整額	1,763	△407	△2,170
少数株主利益	24	4	△20
中間純利益	1,323	1,181	△142

(注) 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

(参考)

(単位：百万円)

連結業務純益	3,682	3,301	△381
--------	-------	-------	------

(連結対象会社数)

(社)

連結子会社数	2	2	—
持分法適用会社数	2	2	—

2. 業務純益【単体】

(単位：百万円)

	19年9月期	20年9月期	19年9月期比
(1) 業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	3,579	2,387	△1,192
職員一人当たり（千円）	3,613	2,377	△1,236
(2) 業務純益	3,579	3,217	△362
職員一人当たり（千円）	3,613	3,203	△410

3. 主要勘定残高【単体】

(1) 未残

(単位：百万円)

	19年9月末	20年9月末	19年9月末比
資金運用勘定残高	1,194,569	1,215,482	20,913
うち貸出金	809,277	825,051	15,774
うち有価証券	367,631	357,830	△9,801
うちコールローン	5,000	20,000	15,000
資金調達勘定残高	1,159,950	1,174,982	15,032
うち預金	1,156,569	1,163,849	7,280
うち借入金	2,000	2,000	—
うち社債	—	8,000	8,000
うちコールマネー	1,269	1,036	△233

(2) 平残

(単位：百万円)

	19年9月期	20年9月期	19年9月期比
資金運用勘定残高	1,149,150	1,175,021	25,871
うち貸出金	774,247	786,005	11,758
うち有価証券	334,192	345,762	11,570
うちコールローン	29,409	32,284	2,875
資金調達勘定残高	1,104,435	1,125,027	20,592
うち預金	1,101,003	1,113,709	12,706
うち借入金	2,000	2,000	—
うち社債	—	8,000	8,000
うちコールマネー	1,309	1,098	△211

４．利鞘【単体】

（単位：％）

	19年９月期	20年９月期	19年９月期比
(1) 資金運用利回 (A)	2.04	2.01	△0.03
(イ) 貸出金利回	2.45	2.41	△0.04
(ロ) 有価証券利回	1.22	1.25	0.03
(2) 資金調達原価 (B)	1.54	1.61	0.07
(イ) 預金等利回	0.25	0.33	0.08
(ロ) 外部負債利回	3.63	2.28	△1.35
(3) 総資金利鞘 (A) - (B)	0.49	0.39	△0.10

(注) 19年９月期の利回については表示単位未満を四捨五入で表示しておりましたが、20年9月期より表示単位未満を切り捨てて表示することとしたため、19年9月期も合わせて表示単位未満を切り捨てて表示しております。

５．有価証券関係損益【単体】

（単位：百万円）

	19年９月期	20年９月期	19年９月期比
国債等債券損益（５勘定戻）	△16	△604	△588
売却益	9	23	14
償還益	—	—	—
売却損	26	7	△19
償還損	—	51	51
償却	—	569	569
株式等損益（３勘定戻）	△186	530	716
売却益	121	946	825
売却損	—	251	251
償却	308	164	△144

6. 自己資本比率（国内基準）

「自己資本比率（国内基準）」は平成19年3月31日より「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行が保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第19号）」に基づき算出しております。

【連結】

（単位：百万円）

	19年9月末	20年9月末	[速報値]		20年3月末
			19年9月末比	20年3月末比	
(1) 自己資本比率	10.07%	11.37%	1.30%	△0.04%	11.41%
(2) Tier I	53,024	54,125	1,101	484	53,641
(3) Tier II	7,924	15,920	7,996	△9	15,929
（イ）うち自己資本に計上された一般貸倒引当金	3,780	3,800	20	△9	3,809
（ロ）うち自己資本に計上された土地再評価差額	2,144	2,119	△25	—	2,119
（ハ）うち劣後債務残高	2,000	2,000	—	—	2,000
（ニ）うち劣後債残高	—	8,000	8,000	—	8,000
(4) 控除項目 （自己資本控除とされる証券化エクスポージャー）	—	858	858	858	—
(5) 自己資本 (2) + (3) - (4)	60,949	69,187	8,238	△384	69,571
(6) リスクアセット	604,889	608,073	3,184	△1,504	609,577

自己資本比率	10.07%	11.37%	1.30%	△0.04%	11.41%
Tier I 比率	8.76%	8.90%	0.14%	0.11%	8.79%
Tier II 比率	1.31%	2.61%	1.30%	0.00%	2.61%

【単体】

（単位：百万円）

	19年9月末	20年9月末	[速報値]		20年3月末
			19年9月末比	20年3月末比	
(1) 自己資本比率	10.07%	11.38%	1.31%	△0.03%	11.41%
(2) Tier I	52,865	53,963	1,098	485	53,478
(3) Tier II	7,913	15,909	7,996	△9	15,918
（イ）うち自己資本に計上された一般貸倒引当金	3,769	3,789	20	△9	3,798
（ロ）うち自己資本に計上された土地再評価差額	2,144	2,119	△25	—	2,119
（ハ）うち劣後債務残高	2,000	2,000	—	—	2,000
（ニ）うち劣後債残高	—	8,000	8,000	—	8,000
(4) 控除項目 （自己資本控除とされる証券化エクスポージャー）	—	858	858	858	—
(5) 自己資本 (2) + (3) - (4)	60,779	69,013	8,234	△383	69,396
(6) リスクアセット	603,103	606,251	3,148	△1,511	607,762

自己資本比率	10.07%	11.38%	1.31%	△0.03%	11.41%
Tier I 比率	8.76%	8.90%	0.14%	0.11%	8.79%
Tier II 比率	1.31%	2.62%	1.31%	0.01%	2.61%

7. ROE【単体】

(単位：%)

	19年9月期	20年9月期	19年9月期比
コア業務純益ベース	11.56	10.56	△1.00
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）ベース	11.50	8.42	△3.08
業務純益ベース	11.50	11.35	△0.15
経常利益ベース	9.29	6.00	△3.29
当期純利益ベース	4.20	4.17	△0.03

(注) 19年9月期のROEについては表示単位未満を四捨五入で表示していましたが、20年9月期より表示単位未満を切り捨てて表示することとしたため、19年9月期も合わせて表示単位未満を切り捨てて表示しております。

8. ROA【単体】

(単位：%)

	19年9月期	20年9月期	19年9月期比
コア業務純益ベース	0.57	0.47	△0.10
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）ベース	0.57	0.38	△0.19
業務純益ベース	0.57	0.51	△0.06
経常利益ベース	0.46	0.27	△0.19
当期純利益ベース	0.21	0.18	△0.03

(注) 19年9月期のROAについては表示単位未満を四捨五入で表示していましたが、20年9月期より表示単位未満を切り捨てて表示することとしたため、19年9月期も合わせて表示単位未満を切り捨てて表示しております。

9. OHR【単体】

(単位：%)

19年9月期	20年9月期	19年9月期比
66.47	74.92	8.45

<コア業務粗利益OHR>

(単位：%)

19年9月期	20年9月期	19年9月期比
66.37	70.44	4.07

(注) 19年9月期のOHRについては表示単位未満を四捨五入で表示していましたが、20年9月期より表示単位未満を切り捨てて表示することとしたため、19年9月期も合わせて表示単位未満を切り捨てて表示しております。

Ⅱ．貸出金等の状況

- ・平成13年３月期より部分直接償却を実施しております。
- ・未収利息不計上基準

自己査定で「破綻先」「実質破綻先」及び「破綻懸念先」に分類した債務者は、未収利息をすべて収益不計上として開示しております。

１．リスク管理債権の状況

【単体】

(単位：百万円)

		19年 9 月末	20年 9 月末			20年 3 月末
				19年 9 月末比	20年 3 月末比	
リ ス ク 管 理 債 権	破綻先債権額	1,826	2,513	687	△901	3,414
	延滞債権額	25,034	27,754	2,720	3,402	24,352
	3ヶ月以上延滞債権額	320	334	14	41	293
	貸出条件緩和債権額	3,739	4,159	420	△388	4,547
	合計	30,920	34,761	3,841	2,154	32,607
(部分直接償却額)		(3,388)	(4,661)	(1,273)	(733)	(3,928)
貸出金残高(未残)		809,277	825,051	15,774	6,540	818,511

(単位：%)

貸 出 金 残 高 比	破綻先債権額	0.23	0.30	0.07	△0.12	0.42
	延滞債権額	3.09	3.36	0.27	0.38	2.98
	3ヶ月以上延滞債権額	0.04	0.04	0.00	0.00	0.04
	貸出条件緩和債権額	0.46	0.50	0.04	△0.06	0.56
	合計	3.82	4.21	0.39	0.23	3.98

【連結】

(単位：百万円)

		19年 9 月末	20年 9 月末			20年 3 月末
				19年 9 月末比	20年 3 月末比	
リ ス ク 管 理 債 権	破綻先債権額	1,872	2,572	700	△897	3,469
	延滞債権額	25,076	27,805	2,729	3,410	24,395
	3ヶ月以上延滞債権額	322	340	18	45	295
	貸出条件緩和債権額	3,742	4,161	419	△393	4,554
	合計	31,013	34,880	3,867	2,165	32,715
(部分直接償却額)		(3,388)	(4,661)	(1,273)	(733)	(3,928)
貸出金残高(未残)		809,325	824,914	15,589	6,443	818,471

(単位：%)

貸 出 金 残 高 比	破綻先債権額	0.23	0.31	0.08	△0.11	0.42
	延滞債権額	3.10	3.37	0.27	0.39	2.98
	3ヶ月以上延滞債権額	0.04	0.04	0.00	0.00	0.04
	貸出条件緩和債権額	0.46	0.50	0.04	△0.06	0.56
	合計	3.83	4.23	0.40	0.23	4.00

2. 貸倒引当金等の状況

【単体】

(単位：百万円)

	19年9月末	20年9月末			20年3月末
			19年9月末比	20年3月末比	
貸倒引当金	11,011	10,360	△651	△1,271	11,631
一般貸倒引当金	4,605	4,364	△241	△830	5,194
個別貸倒引当金	6,405	5,996	△409	△441	6,437

【連結】

(単位：百万円)

	19年9月末	20年9月末			20年3月末
			19年9月末比	20年3月末比	
貸倒引当金	11,362	10,691	△671	△1,254	11,945
一般貸倒引当金	4,740	4,474	△266	△849	5,323
個別貸倒引当金	6,622	6,217	△405	△404	6,621

3. リスク管理債権に対する引当率

引当率は（「2. 貸倒引当金等の状況」の貸倒引当金）÷（「1. リスク管理債権の状況」の合計額）により算出しております。

【単体】

(単位：%)

	19年9月末	20年9月末			20年3月末
			19年9月末比	20年3月末比	
部分直接償却前	41.97	38.10	△3.87	△4.49	42.59
部分直接償却後	35.61	29.80	△5.81	△5.87	35.67

【連結】

(単位：%)

	19年9月末	20年9月末			20年3月末
			19年9月末比	20年3月末比	
部分直接償却前	42.88	38.83	△4.05	△4.49	43.32
部分直接償却後	36.64	30.65	△5.99	△5.86	36.51

４．金融再生法開示債権

【単体】

(単位：百万円)

		19年9月末	20年9月末	19年9月末比	20年3月末比	20年3月末
金融再生法開示債権	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	10,549	10,843	294	△392	11,235
	破綻先債権	1,837	2,526	689	△1,014	3,540
	実質破綻先債権	8,712	8,317	△395	623	7,694
	危険債権	16,432	19,539	3,107	2,775	16,764
	要管理債権	4,060	4,493	433	△347	4,840
	小計(A)	31,042	34,876	3,834	2,036	32,840
	正常債権	792,474	803,816	11,342	5,226	798,590
	債権額合計	823,517	838,693	15,176	7,262	831,431

(単位：%)

		19年9月末	20年9月末	19年9月末比	20年3月末比	20年3月末
債権残高構成比	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1.28	1.29	0.01	△0.06	1.35
	破綻先債権	0.22	0.30	0.08	△0.13	0.43
	実質破綻先債権	1.06	0.99	△0.07	0.06	0.93
	危険債権	2.00	2.33	0.33	0.31	2.02
	要管理債権	0.49	0.54	0.05	△0.04	0.58
	小計	3.77	4.16	0.39	0.21	3.95
	正常債権	96.23	95.84	△0.39	△0.21	96.05
	債権額合計	100.00	100.00	—	—	100.00

５．金融再生法開示債権の保全状況

【単体】

(単位：百万円)

		19年9月末	20年9月末	19年9月末比	20年3月末比	20年3月末
保全額(B)		28,364	30,485	2,121	1,096	29,389
	貸倒引当金	7,494	6,848	△646	△1,007	7,855
	担保保証等	20,869	23,637	2,768	2,104	21,533

(単位：%)

保全率(B) / (A)	91.37	87.41	△3.96	△2.08	89.49
--------------	-------	-------	-------	-------	-------

６．自己査定に基づく開示債権【単体】

(単位：百万円、%)

	19年9月末	20年9月末			20年3月末
			19年9月末比	20年3月末比	
破綻先	1,837	2,526	689	△1,014	3,540
実質破綻先	8,712	8,317	△395	623	7,694
破綻懸念先	16,432	19,539	3,107	2,775	16,764
個別引当対象債権	26,982	30,383	3,401	2,383	28,000
担保等による保全計	19,309	22,247	2,938	2,297	19,950
回収が懸念される額 (A)	7,672	8,135	463	86	8,049
個別引当金残高 (B)	6,345	5,945	△400	△432	6,377
引当率 (B) / (A)	82.71	73.08	△9.63	△6.14	79.22

(注) 対象債権：貸出金・外国為替・未収利息・仮払金・支払承諾見返・銀行保証付私募債

７．償却・引当基準と引当状況【単体】

自己査定債務者区分		金融再生法区分	償却・引当方針	
破綻先		破産更生債権及びこれらに準ずる債権	担保・保証等により保全のない部分に対し100%を償却・引当	
実質破綻先				
破綻懸念先		危険債権	担保・保証等により保全のない部分に対し、過去の貸倒実績率に基づき、今後3年間の予想損失額を引当	
要注意先	要管理先	要管理債権	担保・保証等により保全のない部分に対し、過去の貸倒実績率に基づき、今後3年間の予想損失額を引当	
	その他の要注意先	正常債権	一般先	貸倒実績率に基づき、今後1年間の予想損失額を引当
			DDS先	市場価格のない株式の評価方法に準じた方法や当該債務者に対する金銭債権全体について、優先・劣後の関係を考慮せずに算定された予想損失率を用いる方法等により算出した予想損失額を引当
正常先			貸倒実績率に基づき、今後1年間の予想損失額を引当	

8. 自己査定状況【単体】

(単位：百万円)

債務者区分		分類状況				
		債権残高	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
破綻先		2,526	1,660 (673)	866	— (225)	— (761)
実質破綻先		8,317	4,730 (2,554)	3,587	— (999)	— (1,175)
破綻懸念先		19,539	11,983 (9,201)	5,365	2,190 (4,972)	—
要 注 意 先	要管理先	6,565	1,184	5,381	—	—
	その他の要注意先	118,718	55,806	62,912	—	—
正常先		683,025	683,025	—	—	—
合計		838,693	758,390	78,112	2,190	—

(注) 1. () 内は引当前の分類金額
2. 部分直接償却額 4,661百万円処理後の計数

9. 自己査定・保全の状況と開示債権【単体】

(単位：百万円)

自己査定と保全の状況					金融再生法開示債権		リスク管理債権	
債務者区分	残高	保全額	引当金	保全率	区分	残高	区分	残高
破綻先	2,526	1,539	987	100.00%	破産更生等債権	10,843	破綻先債権	2,513
実質破綻先	8,317	6,141	2,175	100.00%			延滞債権	27,754
破綻懸念先	19,539	14,566	2,781	88.78%	危険債権	19,539	3ヶ月以上 延滞債権	334
要 注 意 先	(うち要 管理債 権) (4,493)	(1,389)	(903)	(51.01%)	要管理債権	4,493		
	要管理先	6,565	2,893	1,068	60.33%	小計	34,876	合計
	その他の要注 意先	118,718			正常債権	803,816		
正常先	683,025							
合計	838,693				合計	838,693		

10. 業種別貸出状況等

(1) 業種別貸出金【単体】

(単位：百万円)

業種	19年9月末	20年9月末			20年3月末
			19年9月末比	20年3月末比	
国内店分（除く特別国際金融取引勘定）	809,277	825,051	15,774	6,540	818,511
製造業	91,124	88,669	△2,455	△3,669	92,338
農業	4,120	4,356	236	89	4,267
林業	141	141	0	△37	178
漁業	328	349	21	13	336
鉱業	4,085	3,098	△987	△410	3,508
建設業	82,979	76,347	△6,632	△5,386	81,733
電気・ガス・熱供給・水道業	638	873	235	518	355
情報通信業	3,355	3,363	8	△231	3,594
運輸業	16,604	16,365	△239	△289	16,654
卸売・小売業	82,608	81,507	△1,101	△264	81,771
金融・保険業	6,469	9,340	2,871	△27	9,367
不動産業	75,217	71,817	△3,400	85	71,732
各種サービス業	110,138	109,970	△168	△2,259	112,229
地方公共団体	55,755	77,079	21,324	15,657	61,422
その他	275,710	281,770	6,060	2,752	279,018

(2) 業種別リスク管理債権【単体】

(単位：百万円)

業種	19年9月末	20年9月末			20年3月末
			19年9月末比	20年3月末比	
国内店分（除く特別国際金融取引勘定）	30,920	34,761	3,841	2,154	32,607
製造業	5,072	4,967	△105	249	4,718
農業	48	87	39	△43	130
林業	12	10	△2	△2	12
漁業	12	12	0	0	12
鉱業	262	397	135	178	219
建設業	6,178	7,201	1,023	301	6,900
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	△6	6
情報通信業	106	269	163	△56	325
運輸業	957	1,394	437	123	1,271
卸売・小売業	4,576	4,978	402	547	4,431
金融・保険業	—	3	3	3	—
不動産業	2,914	3,028	114	136	2,892
各種サービス業	6,275	7,649	1,374	338	7,311
地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	4,502	4,761	259	388	4,373

(3) 業種別リスク管理債権の貸出残高比【単体】

(単位：%)

業種	19年9月末	20年9月末			20年3月末
			19年9月末比	20年3月末比	
国内店分（除く特別国際金融取引勘定）	3.82	4.21	0.39	0.23	3.98
製造業	0.63	0.60	△0.03	0.02	0.58
農業	0.01	0.01	0.00	△0.01	0.02
林業	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
漁業	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
鉱業	0.03	0.05	0.02	0.02	0.03
建設業	0.76	0.87	0.11	0.03	0.84
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	△0.00	0.00
情報通信業	0.01	0.03	0.02	△0.01	0.04
運輸業	0.12	0.17	0.05	0.01	0.16
卸売・小売業	0.57	0.60	0.03	0.06	0.54
金融・保険業	—	0.00	0.00	0.00	—
不動産業	0.36	0.37	0.01	0.02	0.35
各種サービス業	0.78	0.93	0.15	0.04	0.89
地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	0.56	0.58	0.02	0.05	0.53

(4) 消費者ローン残高【単体】

(単位：百万円)

	19年9月末	20年9月末			20年3月末
			19年9月末比	20年3月末比	
消費者ローン残高	249,831	255,103	5,272	898	254,205
うち住宅ローン残高	222,853	230,509	7,656	2,273	228,236
うちその他ローン残高	26,977	24,593	△2,384	△1,375	25,968

(5) 中小企業等貸出比率【単体】

(単位：%)

	19年9月末	20年9月末			20年3月末
			19年9月末比	20年3月末比	
中小企業等貸出比率	88.41	84.85	△3.56	△1.95	86.80

11. 国別貸出状況等

(1) 特定海外債権残高【単体】

該当ありません。

(2) アジア向け貸出金【単体】

該当ありません。

(3) 中南米主要諸国向け貸出金【単体】

該当ありません。

(4) ロシア向け貸出金【単体】

該当ありません。

12. 預金、貸出金の残高【単体】

(単位：百万円)

	19年9月期	20年9月期			20年3月期
			19年9月期比	20年3月期比	
預金(末残)	1,156,569	1,163,849	7,280	5,939	1,157,910
預金(平残)	1,101,003	1,113,709	12,706	7,559	1,106,150
貸出金(末残)	809,277	825,051	15,774	6,540	818,511
貸出金(平残)	774,247	786,005	11,758	7,100	778,905